

建設埼玉 組合員様向けオートリースのメリットについて

- 1、関東マツダからの組合員様向け特別あっせん価格をベースとして、リース契約を結ぶことが可能です。
- 2、メンテナンス付きリースで車両管理業務の削減や経費の平準化が図れます。

(1) 掲載のメンテナンスリースに含まれる内容

費用項目	メンテナンスリース
車両代	○
付属品・架装品	○
登録費用	○
環境性能割	○
重量税	期間分
自賠責保険	期間分
自動車税	期間分
車検整備費用	○
法定点検	○
マツダセーフティ点検	○
一般整備および故障修理	○
各種消耗品の交換	○
オイル交換	○
タイヤ交換 (期間中必要本数)	○
バッテリー交換 (期間中必要個数)	○
代車サービス	○
ロードサービス	○
任意保険	△ (選択可能)

■すべてお任せ！メンテナンスリース

車両代金や税金・のほかに、自動車の維持管理に関するメンテナンスサービス（車検・点検整備・タイヤ交換・バッテリー交換・事故を除く故障修理・代車提供）をセットにしています。

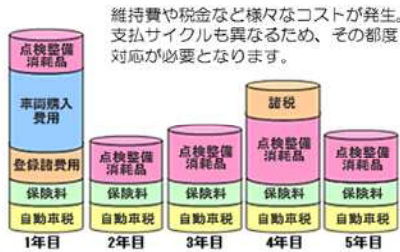
リース期間中に発生するメンテナンスに関わる費用の発生が無くなり、その支払業務や、車検、点検、オイル交換といった車両管理業務の削減が図れます。

また、メンテナンス工場は正規ディーラーである関東マツダを指定出来るため、安心です。

■車両経費の平準化が図れます

メンテナンス費用を含め、支払いがリース料に一本化されるため、月々の車両に関わる経費が平準化され、予算管理も楽になります。

購入の場合



メンテナンスリースの場合

頭金不要。車両代金、税金や車検費用だけでなく、ロードサービスやメンテナンス費用、ましてすべてリースに含むことができます。

契約期間内のリース料を支払うだけでOK!



(2) そのほか、メンテナンスリースのメリット

■突発的な高額修理（事故を除く）が発生しても、メンテナンスリースであれば、リース料以外の支払いが発生しない為『赤字決算などを気にして修理ができない』といった事態を回避出来ます。

■メンテナンスに関わる費用の処理において、『領収書を失くしてしまった』『申告が漏れてしまっていた』といったことが無く、車に関わる費用をきっちり処理することが出来ます。



3、購入と比べると、メンテナンスリースは便利なお得なことがたくさんあります。

購入(現金・クレジット)の場合
・購入資金が必要となり、車両運搬具として 資産計上が必要 。
・車両本体は 減価償却処理が必要 。
・各種税金、保険料、メンテナンス費用、リサイクル費等、 計上の細分化が必要 。
・車両に関わる費用の 予算だてが難しい 。 (過去の車検や点検費用、保険費用などを調査)
・車両管理者やドライバーにより、車検や点検、オイル交換などの 管理が必要 。
・車両購入やメンテナンス手配、任意保険の加入や自動車税の支払いなど、 いくつもの窓口と打ち合わせが必要 。
・故障修理において、 社内決裁、請求支払いの業務が発生 。

メンテナンスリースの場合
⇒ 購入資金の調達が必要で、 資産計上が必要 となります。 ※リース取引に関する会計・税務処理については監査法人・顧問税理士へ確認をお願いします。
⇒ リース料は 全額経費処理が可能 となります。
⇒ 車両に関わる費用は、 リース料に1本化 することができます。
⇒ 月額リース料×12ヶ月が年間の予算となり、 予算だてが楽 になります。
⇒ 点検の案内に沿って入庫をしていただきます。未入庫の場合は、工場より入庫促進の連絡を行い、 点検漏れを無くします 。
⇒ お車に関わること相談窓口を、 リース会社1社とすることも可能 です。
⇒ リース契約に含まれる内容については、 個別の決裁や支払処理が不要 となります。

購入に比べて処理がシンプル！

予算・実績管理がしやすく、突飛な支出がない！

安全・安心な車両にいつでも乗れる！

個人のマイカーリース（乗用車）については別途お問い合わせください。

マイカーリースで乗用車をご成約頂きますと、マツダお得意先様マイカーご成約特典の対象となります。

(ご成約特典については、別途内容をご確認ください)